

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名

愛媛県

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	新居浜市立西中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	2	3	1	9	17
生徒数	84	80	89	1	254	

研究の概要

1. 研究主題

「確かな学力」の向上を図り、生徒の実態に応じたきめ細かな指導の方法と評価の研究

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・2年生数学  
1年生時は27人の3学級であったが、今年になって40人の2学級になり、急激な生徒数の変化があったため。また、数学は生徒の理解の状況に差が出やすい教科であるため。

・3年生数学、3年生英語  
3年生は、これまでの学習によって個人差が大きくなっており、特に数学、英語は生徒の理解の状況に差が出やすい教科であるため。

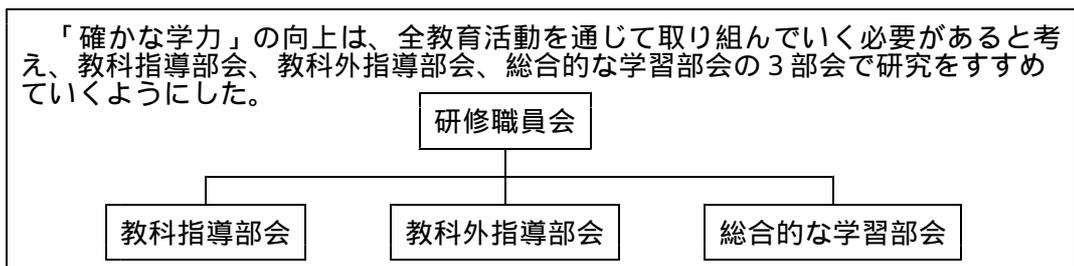
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	テーマ 基礎・基本の定着を図るための少人数指導によるきめ細かな指導
	研究の見通し 基礎・基本の確実な定着を図りながら、生徒一人一人のよさを生かし、伸ばす授業の展開や支援を行うことで、意欲的に学習に取り組もうとする生徒を育成を目指す。
	研究内容・方法 1 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善 (1) 少人数指導によるきめ細かな指導の工夫 (2) 個々の生徒の能力を伸ばす学習形態の工夫 (3) 習熟の度合いに応じた学習形態の工夫
	2 個に応じた指導のための教材の開発 (1) 個別指導のための教材の工夫 (2) 選択教科における発展的な学習教材の開発
	3 生徒の学力の評価を生かした指導の改善 (1) 目標に準拠した評価規準の作成 (2) 指導と評価の一体化を図る評価方法の工夫
	4 特殊学級における指導方法の工夫 (1) 一人一人の実態に応じた指導内容・指導方法の工夫 (2) 「生きる力」を育てるための指導内容の工夫

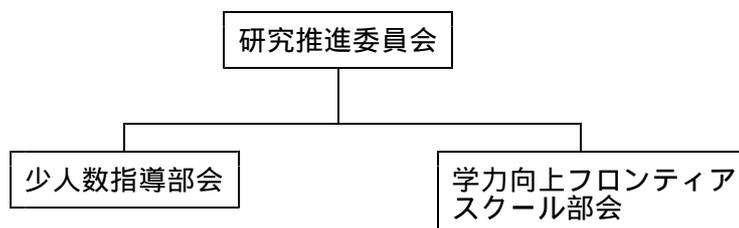
平成 15 年 度	<p>テーマ 基礎・基本を確実に身につけさせ、「自己変容力」を高めていくための指導方法と評価の研究</p> <p>研究の見通し 「確かな学力」の向上を図るためには、基礎・基本を身につけさせたいうえで、子どもが主体的に変わろうとする力を高めることが大切であると考ええる。そのような力を身につけさせる指導・支援や評価を行うことで、「生きる力」を育み、自ら学び自ら考えようとする生徒の育成を目指す。</p> <p>研究内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教科における「自己変容力」の育成 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 変容につながる「自己評価表」の活用</li> <li>(2) 客観性・信頼性のある評価のための評価規準の見直し</li> <li>(3) 理解や習熟の程度に応じた指導方法の工夫改善</li> </ol> </li> <li>2 道徳・特別活動における「自己変容力」の育成 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自らの生き方を見つめ直すことのできる教材の開発</li> <li>(2) 変容を評価するための方法の研究</li> </ol> </li> <li>3 総合的な学習における「自己変容力」の育成 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 体験的な学習や問題解決的な学習の積極的な導入</li> <li>(2) 知識・技能を総合的に働かせるための学習活動の工夫</li> </ol> </li> </ol>
--------------------	---

平成 16 年 度	<p>テーマ 基礎・基本を確実に身につけさせ、「自己変容力」を高めていくための指導方法と評価の研究</p> <p>研究の見通し 「確かな学力」の向上を図るためには、基礎・基本を身につけさせたいうえで、子どもが主体的に変わろうとする力を高めることが大切であると考ええる。そのような力を身につけさせる指導・支援や評価を行うことで、「生きる力」を育み、自ら学び自ら考えようとする生徒の育成を目指す。</p> <p>研究内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教科における「自己変容力」の育成 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 変容につながる「自己評価表」の活用</li> <li>(2) 客観性・信頼性のある評価のための評価規準の見直し</li> <li>(3) 理解や習熟の程度に応じた指導方法の工夫改善</li> <li>(4) 発展的な学習や補充的な学習のための「自作教材」の開発</li> </ol> </li> <li>2 道徳・特別活動における「自己変容力」の育成 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自らの生き方を見つめ直すことのできる教材の開発</li> <li>(2) 変容を評価するための方法の研究</li> <li>(3) 「自作資料」による授業実践</li> </ol> </li> <li>3 総合的な学習における「自己変容力」の育成 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 体験的な学習や問題解決的な学習の積極的な導入</li> <li>(2) 知識・技能を総合的に働かせるための学習活動の工夫</li> <li>(3) コンピュータを利用したプレゼンテーションの工夫</li> </ol> </li> </ol>
--------------------	---

(3) 研究推進体制



また、具体的な取組として、習熟の程度に応じた少人数指導を行うため、研究推進委員会を設け、少人数指導と学力向上フロンティアスクールとしての研究を推進していくようにした。



## 平成15年度の研究成果及び今後の課題

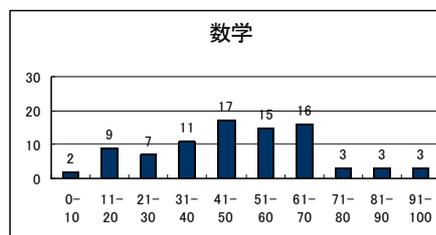
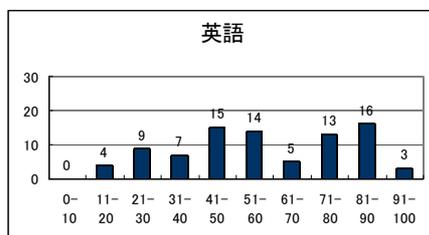
### 1. 研究成果

今年度は、「自己変容力」を高めていくための指導方法と評価の研究をテーマとして取り組み、特に習熟の程度に応じた少人数指導に力を入れた。昨年度の少人数指導は均等なグループ編制で行い、基礎的なことが理解できていなかった生徒にとっては、効果があることがわかった。しかし、基礎が十分に定着している生徒にはそれほどの向上が見られなかった反省を踏まえ、3年生の数学と英語で、学級を基本コースと発展コースの2つに分け、習熟の程度に応じた少人数指導に取り組んだ。

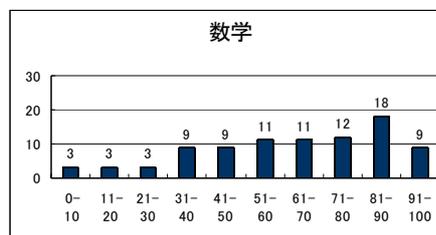
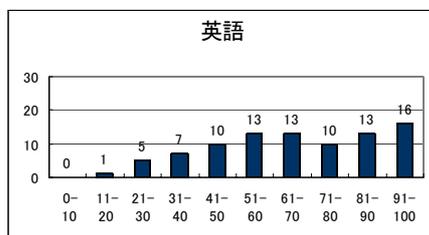
定期テストの度数分布を見ると、基本コースでの指導によって、点数がとれない生徒の人数が減り、発展コースでの指導によって、さらに点数がとれるようになったり、理解の高まりや深まりが見られるようになった。このことから、基礎・基本の定着を図るためには、少人数指導が有効であり、発展的な内容を習得させるためには、習熟の程度によって分けた少人数指導が効果的であると考えられる。

平成15年度 3年生 度数分布

4月  
進級  
テスト

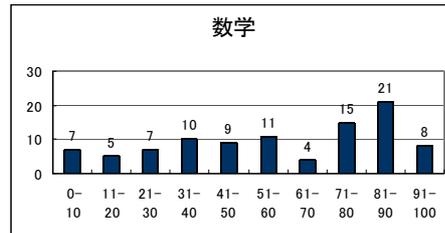
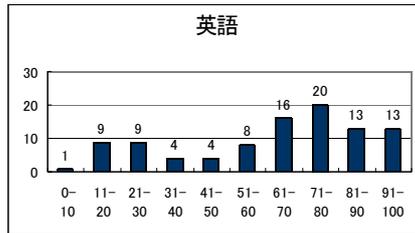


10月  
中間  
テスト

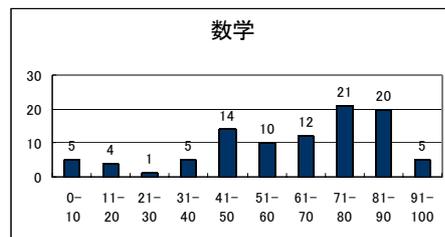
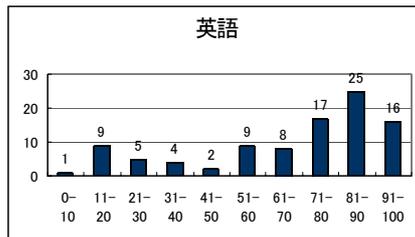


平成14年度 3年生 度数分布

4月進級テスト



10月中間テスト



2. 今後の課題

今年度初めて習熟の程度に応じた少人数指導に取り組んだが、試行錯誤の連続であった。グループ編制の方法や評価の方法、さらに効果的な指導方法などについて、今後も研究をすすめていきたい。  
また、発展的な内容についての学習教材や、生徒の興味・関心を高めるような自作教材の開発にも取り組んでいきたい。

学力把握のための学校としての取組

- 定期的な学力テストの実施（年4回）
  - ・度数分布表による習熟の程度の把握
- 到達度テストの実施（2月）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・第1回西条管内地区協議会（15年10月10日）新居浜市立若宮小学校 研究実践の報告
- ・第2回西条管内地区協議会（15年12月10日）新居浜市立西中学校 授業公開、具体的研究実践の発表
- ・第3回西条管内地区協議会（16年1月27日）新居浜市立惣開小学校 実践研究のまとめ発表

西条管内地区協議会には、新居浜市内の全小中学校から1名以上参加いただき、フロンティアスクールの取組を各学校に持ち帰って普及してもらっている。習熟の程度に応じた少人数指導の授業を公開したことで、他の学校が今後取り組んでいく参考になったと思う。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               3学級以下                       4～6学級  
                                  7～9学級                       10～12学級  
                                  13～15学級                       16学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       数学                       理科  
                                  外国語                       音楽                       美術                       技術・家庭  
                                  保健体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有                       無